2026年1月1日 発行（1）

あんしん 道 あいち

第29号

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会
http://www.ansinmichiaichi.jp
TEL(052)241-4515／FAX(052)252-8156／E-mail[zen-ai@syd.odn.ne.jp]

より安全・安心な通学路の確保のための
カラー標示等による安全対策
（愛知県知多市／知多市立新知小学校通学路）

目　次

ごあいさつ ……（1）
〈令和7年度子どもを守ろうプロジェクト〉 ……（2）
令和7年度知多市通学路カラー標示寄贈および贈呈式
〈交通安全啓蒙活動〉交通安全活動に対する愛標協の取り組み ……（3）
〈非常災害対策プロジェクト〉 ……（4）
愛知県・田原市総合防災訓練参加報告
〈非常災害対策プロジェクト〉 ……（5）
災害時保安機材供出ネットワーク地区別訓練報告
〈交通安全施設研修会〉開催報告 ……（6）
〈技術情報／標識部会〉 ……（7）
道路標識の点検・現状と維持管理について
〈技術情報／標示部会〉 ……（8）
自動運転の普及に伴う区画線整備の必要性
〈路面標示技能士検定〉令和7年度路面標示施工技能士検定実施報告 ……（9）
〈次世代研修会・交流会〉令和7年度「次世代研修会」開催報告 ……（10）
〈定時総会〉定時総会開催報告 ……（11）
会員名簿 ……（12）

ごあいさつ

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会　会長　鈴木 康生

平素は格段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

私たち「命を守る専門工事業」にとって昨年は、原材料費・運送費の高騰、猛暑日が続く中での働き方改革の改善、業界への入職者確保の困難等、大変厳しい一年でした。今後も業界を取り巻く環境は、引き続き厳しいものとなることが予想されます。

当協会では、愛知県が管理する道路において老朽化した交通安全施設の危険個所を自主調査しております。しかし、その整備に必要な経費に毎年の予算が追いつかず、道路ストックは溜まるばかりです。将来を担う子どもたちに負の財産を残さないように、業界団体としてライフサイクルコストを考えた「予算の増大確保」とその「必要性」を、引き続き要望・提案して参ります。

通学路の安全対策

将来を担う子どもたちのために、通学路に物理的デバイス（生活道路において車両の速度抑制などを図るために設置される構造物）を提案し、子どもたちを守ってまいります。毎年、1市町村への通学路の施工寄贈を計画しています。

青年部会の活動を通じて若手育成

若い世代の声を取り上げ自主的な勉強会や交流会を開催しています。若手協会員同士の横の交流を大切にしながら、業界全体の次世代継承を考えた活動「次世代研修会」を推進しております。

道路標識の視認性点検の試行

直轄国道において、現在道路標識の視認性の判定区分や健全性などを盛り込んだ点検要領案を作成し点検試行を開始いたしました。近い将来、現在の「道路標識点検要領」が視認性（昼・夜間）や判読性を加えた「道路標識点検要領」になることにも協会として尽力してまいりたいと考えております。

◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆

今後も当協会活動にご理解を賜り、ご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

令和7年度知多市通学路カラー標示寄贈および贈呈式

子どもを守ろうプロジェクト委員長　松井　恭行

知多市立新知小学校通学路安全対策

通学路カラー標示の施工概要

新知小学校の通学路に設置した「通学路カラー標示」

知多市役所から少し南に行った場所にある市立新知小学校の通学路に、カラー標示による通学路の安全対策を施工してまいりました。

現場は、国道155号への抜け道になっている狭小な道路ですが、変形Y字型の交差点がラッパ状に広く、速度超過もあり、朝は通学児童と車両が混在する危険な道路でした。

【交差点のコンパクト化＋歩行者待避場所の確保】、【グリーンベルトによる児童の歩行空間の確保】、【通過車両への減速喚起】を行えるよう提案し、施工をしてまいりました。

“のぼり旗”で活動をPR

「子どもを守ろう!!プロジェクト」ののぼり旗を立てて施工

施工は、通学児童がいない夏休み中に行いました。施工の約１週間前には工事予告看板の設置、付近店舗への事前PRを行いました。

付近の住民の皆様にご理解いただくために、施工中は「子どもを守ろう!! プロジェクト」の“のぼり旗”を立てて活動をPRさせていただきました。日中も通過車両が多かったのですが、地域の皆様の協力（自主的な迂回など）もあり、スムーズに施工を終えることができました。ありがとうございました。

贈呈式の会場にて

知多市市長応接室にて行われた「贈呈式」

今回のボランティア活動に対して、8月29日に知多市の市長応接室において贈呈式を執り行うことができました。知多市からは宮島壽男市長様（当時）始め、担当部署の皆様にご出席をいただき活動の報告をしてまいりました。

市長様からは「大変すばらしいボランティアにより、知多市の宝である子どもたちの安全・安心が確保できました」とお礼の言葉をいただきました。「通行車両の速度を抑止しされ、将来を担う子ども達の事故が少しでも無くなるような提案を続けていきますので、今後ともよろしくお願いします」と当協会の鈴木会長が締めて贈呈式を終了しました。

交通安全活動に対する愛標協の取り組み

交通安全運動事業委員会　村田　肇

交通安全運動活動、交通遺児を励ます会への寄付活動

全国交通安全運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会（会長：大村秀章様）が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に４回（春、夏、秋、年末）開催され、交通安全に対する啓蒙活動を行っております。

今年は、自転車と歩行者、自転車と車の事故が多発、飲酒運転の撲滅等交通マナーを重点としました。

また各期の交通安全運動一斉大監視の日には、会員それぞれの職域においての立哨活動にも参加しています。

秋の交通安全運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は（1）各地の交通安全県民運動への参加（中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内）、（2）啓発グッズの配布、（3）その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動への参加を行っています。中村警察署管内ではJR名古屋駅東口において、タレントキャイ～ンの天野ひろゆき氏に一日署長を委嘱して交通安全のトークと啓発物品の配布を当協会員、太閤ライオンズクラブ等皆で行いました。豊田警察署管内、津島警察署管内においても当地域の協会員全員参加で交通安全啓蒙活動に参加しました。

その他交通安全事業委員会活動について

「交通遺児を励ます会」を訪問し寄付▶

その他の活動では、全国交通安全運動の期間中に開催される「愛知県高速道路安全協議会主催の交通安全活動」に参加しました。

また公益財団法人交通遺児を励ます会を訪問し、寄付活動を行っています。

非常災害対策プロジェクト　活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長　神農 信克

愛知県・田原市総合防災訓練参加報告

愛知県・田原市総合防災訓練

令和７年８月31日(日)愛知県田原市白谷海浜公園他３か所にて、総合防災訓練が開催されました。

当日の
会場の様子

訓練テーマとして【～みんなの力で、誰も独りにさせない～「もしも」を「いつも」に！】を掲げ、①防災関係機関の連携訓練、②孤立地域における多様な災害対策の確立、③市民の自助・共助及び防災意識の向上に資する啓発、④避難所の開設・運営訓練、⑤医療救護所関連の設置・運営訓練を重点事項とし、関係機関88団体参加の中、本番さながらに実施されました。

当日の
訓練の様子

当協会は、災害現場の二次被害を防ぐため「危険箇所への立入防止用保安機材設置」の訓練を行いました。参加は「東三河・新城設楽地区」の隊員です。

来たる有事を想定し、隊長の的確な指示のもと、全員が機敏な動きで取り組みました。

本活動が県民の一助になればという思いから、今後も継続し積極的に参加してまいります。

非常災害対策プロジェクト　活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長　神農 信克

非常災害時保安機材供出ネットワーク地区別訓練報告

非常災害時保安機材供出ネットワークについて

令和７年９月上旬～下旬に掛けて愛知県下６地区で非常災害時保安機材供出訓練を実施致しました。

本訓練は昨今頻繁におこる大地震やゲリラ豪雨などの災害が発生した際、当局より要請を受けて被災箇所の二次災害防止にあたる訓練です。

愛知県下１１か所に備蓄している保安機材（セーフティコーン・ブルーシートなど）を災害現場に搬出し、協会隊員が立入禁止区域を速やかに設置します。

●各地区の訓練風景

●各地区の巡視風景

万が一の災害時に官民協働で被災地の救援にあたることができるよう、一部の建設事務所、防災・維持担当者さまにご巡視・ご指導を賜り、有事に於けるそれぞれの役割について再認識しました。

令和７年度交通安全施設技術研修会　開催報告

研修委員会長　立岩 良之

交通安全施設技術研修会 開催

開催報告

▲ご来賓・愛知県建設局道路維持課課長補佐堀田裕久様のご挨拶

令和７年９月26日（金）名古屋市内会場におきまして、令和７年度交通安全施設技術研修会を開催いたしました。

官公庁様からは中部地方整備局５名をはじめ愛知県建設局13名、愛知県道路公社１名、名古屋市１名、名古屋高速道路公社１名、他市町33名の計54名の職員の方々に御出席を賜り、当協会正会員・賛助会員他73名を含めた総勢127名にて交通安全施設の研修が行われました。

ご来賓の愛知県建設局道路維持課課長補佐の堀田裕久様よりご挨拶を賜りました。

公益活動報告

子どもを守ろうプロジェクト委員会から知多市に寄贈しました通学路安全対策の報告、青年部会からは神奈川県内で行われた次世代研修会開催について報告がありました。

▲子どもを守ろうプロジェクト委員会／松井恭行委員長の発表

▲青年部会／寺部岳部会長の発表

特別講演

特別講演として中部地方整備局道路部交通対策課長補佐の泉田一壽様をお招きして、「交通安全事業に関する最近の話題」について多岐に渡りご講演いただきました。

中部地方整備局道路部交通対策課長補佐の泉田一壽様による「特別講演」▶

交通安全施設等技術提案

専門部会からのプレゼンテーションでは標識部会から「道路標識の点検・現状と維持管理について」、標示部会から「自動運転の普及に伴う道路区画線整備の必要性」について発表がありました。

研修会終了後お問い合わせも寄せられ、交通安全対策についてご出席いただきました方々の関心の高さが伺える研修となりました。

▲標識部会／澤田尚澄部会長の発表「道路標識の点検・現状と維持管理について」

▲標示部会／長坂武長部会長の発表「自動運転の普及に伴う道路区画線整備の必要性」

技術情報／標識部会

標識部会長　澤田 尚澄

道路標識の点検・現状と維持管理について

道路標識点検診断士のご活用のお願い

現在、愛知県建設局・名古屋市において、国土交通省が点検・診断業務における技術者資格として登録された「道路標識点検診断士」が活用されています。2014年（平成26年）からスタートした愛知県建設局における標識点検業務では、当協会員における標識点検診断士より、F型支柱路面境界部の腐食による貫通穴が２基発見され、官民一体となった対応により発見から１～３日での緊急撤去をして「予防保全」として第三者被害を未然に防止できた例となりました。その後、道路管理者様からの修繕相談を受け、標識の機能性診断を実施し標識レイアウト・構造計算書・F型標識構造図・路面復旧図・F型柱重量表作成などコンサルタント業務同等の技術力を発揮し、緊急撤去から１年弱での標識復旧に寄与しました。

▲F型支柱路面境界部の腐食

▲緊急撤去から復旧した標識

地点名標識の点検のお願い

愛知県内の道路附属物における「地点名標識」の点検は、まだまだ道半ばであります。

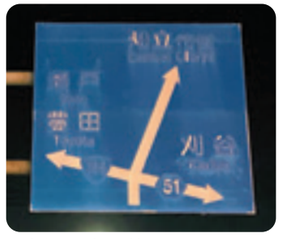
2023年（令和５年）には東京都江戸川区において地点名標識が取付金具の破断による落下により、横断中の女性が頭部に裂傷するケガを負っておりますことから、出来るだけ早く「道路標識点検診断士」を活用した点検を実施いただければ幸いです。

▲信号機に取り付けられている地点名標識

▲腐食が進んだ地点名標識の取り付け金具

標識板の視認性について

全国的に、劣化して視認性に乏しい標識が増えている事から、（一社）全国道路標識・標示業協会の本部では標識板の視認性検討委員会を立ち上げ、昼間における視認性、いわゆる見え方の基準を数値化して判断できるよう研究おこなっているところであります。研究結果が報告されましたら次回技術研修会等にて報告します。



▲劣化して視認性に乏しくなった道路案内標識（夜間）

▲正常に視認性を保持している道路案内標識（夜間）

技術情報／標示部会

標示部会　長坂 武久

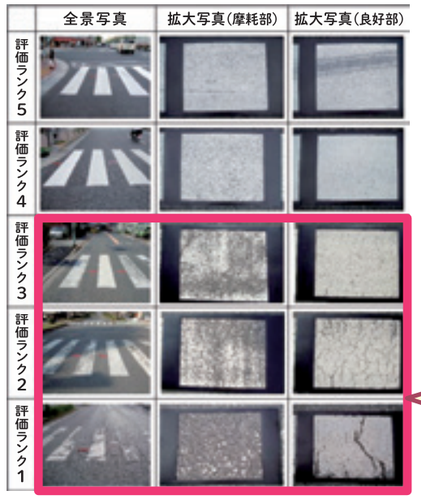
自動運転の普及に伴う区画線整備の必要性

区画線整備に対する社会的要求の増大

自動運転技術を搭載した車両が更に普及していく中で、区画線の健全度は自動運転にとって必須条件となり、区画線のメンテナンスサイクルの構築・維持管理は喫緊の課題です。

昨今の社会的背景（高齢化・労働力不足・地方創生・災害対策・国際競争）を踏まえると、自動運転の安全・安定運用の基盤として、道路区画線の整備・維持は“社会インフラの必須条件”です。これは単なる交通管理ではなく、人と物の移動の自由を守るための社会的投資と位置づけられます。

求められる区画線維持管理の水準



ランク		評価内容
5	健全	標示全体が維持されており、摩耗が少なく、剥離が見られない。経時による塗膜の劣化が見られない。
4	予防保全段階	摩耗の進行と若干の剥離が見られるが、標示全体の形状は維持されている。割れ、クラック等の経時による劣化がわずかに見られる程度である。
3	早期措置段階	摩耗又は剥離により、標示の中に舗装路面の露出が見られる。標示全体の形状は維持されているものの、経時による表面の劣化、割れ、クラックが見られる。
2	準緊急措置段階	摩耗又は剥離が進行し、標示の形状において不鮮明な部分が見られるようになる。経時による表面の劣化、割れ、クラックが著しい。
1	緊急措置段階	摩耗、剥離が進行し、標示の形状、機能がほとんどない。経時による表面の劣化、割れ、クラックが顕著である。

国土交通省国土技術政策総合研究所では【予防保全型の維持管理を行うには目視評価ランク３で塗り替えが望ましい】との結論

区画線長寿命化のための技術提案

「耐摩耗性区画線の採用」……"コスト1.5倍 ➔ 耐久性は従来品の2倍以上"

◎従来品との比較（評価ランク３になるまでの期間）

- ☐ 従来溶融式区画線 ➡ ３年から５年で劣化が始まる
- ☑ 耐摩耗性区画線 ➡ ８年以上（実証実験に基づく）

【特長】

特殊骨材（硬質セラミック骨材）等を含有し、従来の路面標示用塗料の原料も 見直しすることにより、全体の強度を改良。

- 路面標示用塗料 ３種１号の品質に適合
- 特に耐久性を向上
- 全体の強度を改良
- 通常の スリッター式施工機 で施工が可能

令和７年度　路面標示施工技能士検定　実施報告

標示部会　長坂 武久

令和7年度 路面標示施工技能士検定 実施報告

■令和７年８月27日（水）中京競馬場駐車場において路面標示施工技能士検定が実施されました。この検定は、全標協中部支部が愛知県職業能力開発協会から国家試験の検定機関の一員として実技試験の委託を受け実施したもので、本年は中部４県から62名が受験しました。猛暑の中、協会員各社の検定委員８名、補佐員15名、補助員41名計64名の協力によって実施されました。

開会式の様子

会場全体の様子

ハンドマーカー検定の様子

ハンドマーカー検定の様子

■路面標示施工技能士とは――

この検定試験は、職業能力開発促進法に基づいた国家検定制度、合格した者は、厚生労働大臣から「技能士」として認定された称号を付与されます。

■建設業法における国の認定――

建設業法（昭和24年）法律第100号では、平成10年６月18日付建設省第1359号（現国土交通省）により、路面標示施工技能士は下記の資格を有することとなりました。いわば国土交通省が認定した国家資格といえます。

✓専任技術者となり得る　✓主任技術者となり得る　✓技術者資格として評価対象となっている

次世代研修会・交流会

青年部会　寺部　岳

令和７年度「次世代研修会」開催報告

青年部会の発足と次世代研修会の開催

今年度、当協会では新たに青年部会を発足しました。次世代の若手技能者の基礎知識の習得から、実務に直結する技能の向上までを幅広く支援することを目的としております、今年は、神奈川県において次世代研修会を開催しました。一日目は道路標識に用いられる高輝度反射シートを製造している会社を訪問し、二日目は路面塗装材、道路標識板を製造している会社を訪問しました。

高輝度反射シート製造会社の見学と研修内容

１日目は高輝度反射シートの技術管理センターを訪問し、宇宙開発規模の革新的な反射性能の技術、最新の乗用車にも搭載されている防音シートの性能など、普段学ぶことのできない専門的な知識を深めることができました。

工場見学の後の質疑応答でも積極的に質問をする姿が印象的であり、次世代の協会員の頼もしさを強く感じました。

また研修会終了後には交流会も開催しました。

路面塗装材、標識板の製造会社と横浜市民防災センターを訪問

２日目は路面塗装材、道路標識板を製造している会社を訪問し、標識板のデザイン作成、電気を使用した溶接作業などの製造技術を学び、我々施工業者が施工しやすい工夫があることがわかりました。

また２日目の最後に、横浜市民防災センターを訪問しました。参加した協会員全員が最大震度７の揺れを地震シミュレーターで体験し、大型地震が起こった際の防災を真剣に考える貴重な機会となりました。

今後も青年部会ではこうした活動を継続・発展させ、建設業の未来を担う人材の確保、育成に取り組んでまいります。

（一社）愛知県道路標識・標示業協会 定時総会開催報告

総務委員会　成田　聡

(一社)愛知県道路標識・標示業協会 定時総会開催報告

＊交通安全施設の専門業者団体としての役割

令和7年5月14日、サイプレスガーデンホテルにて、一般社団法人愛知県道路標識・標示業協会の定時総会が開催されました。

開会に先立ち、加藤会長は当協会の使命について「交通事故のない社会を目指し、誰もが安全に移動できる道路環境の実現に取り組むこと」であると述べられ、「そのために、技術の向上や技術者の育成、交通安全施設の提案、さらにはボランティア活動などの社会貢献活動にも注力し、一人でも多くの命を守るため協会活動を推進していきたい」と挨拶されました。

続いて総会では、令和６年度の収支決算報告および令和７年度の事業計画案などについて審議が行われ、いずれも承認・可決されました。

また、本年度は任期満了に伴う役員改選が行われ、第３号議案の可決により新理事および監事が選任され、総会後の臨時理事会において、新会長として鈴木康生氏が選任されました。

鈴木新会長は、「仕事づくり」「予算要望」「次世代への継承」の３本を柱に掲げ、着実な協会運営を進めていきたいと挨拶されました。

↑愛知県道路標識・標示業協会
加藤淳一（前会長）

↑愛知県道路標識・標示業協会
鈴木康生（新会長）

＊議事内容

定時総会議題

- 第1号議案　令和6年度事業報告の承認を求める件
- 第2号議案　令和6年度収支決算報告の承認を求める件
- 第3号議案　令和7・8年度理事及び監事の選任を求める件
- 第4号議案　令和7年度事業計画案の承認を求める件
- 第5号議案　令和7年度収支予算案の承認を求める件

＊ご来賓の方より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

ご来賓

↑愛知県警察本部 交通部交通規制課
課長 金崎翔平様

ご来賓

↑愛知県建設局 道路維持課
課長 夏目和紀様

ご来賓

↑当協会顧問 愛知県議会議員
寺西睦様

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会 会員名簿

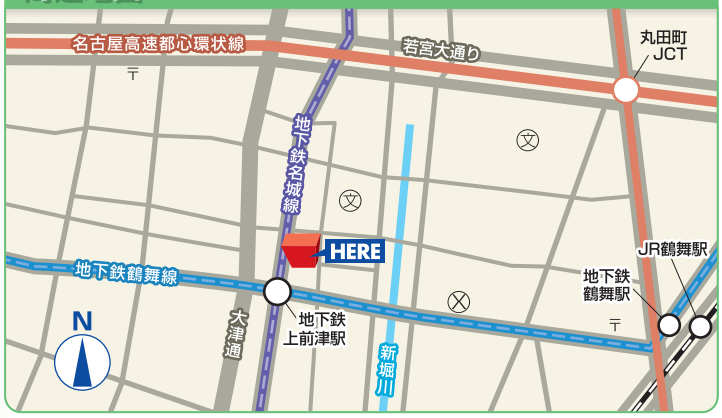
正会員	電話番号
㈱アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス㈱名古屋営業所	(0586)24-5706
㈱イセヤス建材	(0532)33-3303
㈱オカムラ	(0567)65-6050
小田鐵網㈱	(052)351-5181
㈱キクテック	(052)611-0680
協栄産業㈱	(0567)65-2995
㈱京伸	(0565)33-2141
㈱金原	(0532)31-4969
㈱コウエイ	(052)822-5137
交通企画㈱名古屋営業所	(052)938-6320
サンダイ技建㈱	(0568)43-3221
信号器材㈱名古屋営業所	(052)832-2571
順天工業㈱	(0565)48-4851
スロープガード㈱	(0564)28-0661
㈱ダイエーディスポウズ	(052)411-3811
㈲ダイシン	(0532)26-0361
大電土木㈱	(0565)53-3883
中日保安設備㈱	(0587)95-1284
中部道路㈱	(052)772-6131
㈱中部道路施設	(0586)51-6669
寺部安全施設㈱	(0563)65-2800
東愛工業㈱	(0565)53-2072
㈱東亜製作所	(052)891-1711
東亜ライン㈱	(052)624-5071
東京戸張㈱	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業㈱	(0562)33-1676
東祐工業㈱	(0565)27-6885
東陽工業㈲	(0565)26-9111
東陽テック㈱	(052)651-4531
豊田㈱	(052)935-5561
西尾ライン㈱	(0563)54-3481
日道工業㈱	(052)265-7137

正会員	電話番号
㈱日本道路システム	(0564)26-3381
日本ライナー㈱中部支店	(0586)71-4155
阪神装路㈱名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料㈱ 豊橋営業所	(0532)31-6230
藤安全施設㈱	(0567)95-8038
㈱マイ・ロード	(052)805-1131
㈱前山	(052)841-9250
㈱みどり安全社	(0564)48-2888
美松工業㈱	(0569)29-2751
名阪興業㈱	(0566)82-8818
㈱メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森工業㈲	(0565)44-0255

賛助会員	電話番号
㈱アークノハラ名古屋営業所	(052)218-5238
㈱吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
GX㈱	(0532)52-4577
㈱興和工業所土木建材部	(0569)29-3041
三永商事㈱	(052)232-5800
サンコー企画㈱	(076)289-6708
㈱三陽商会中部支店	(0567)57-0160
篠田㈱	(058)214-3497
㈱篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
JFE建材㈱名古屋支店	(052)204-5707
スリーエム ジャパン㈱TSD販売部	(03)4578-4313
積水樹脂㈱中部支店	(052)961-1571
セフテック㈱名古屋支店	(052)902-2711
日鉄神鋼建材㈱名古屋支店	(052)265-8982
日本地工㈱名古屋営業所	(052)899-4111
不動フエンス工業㈱	(052)726-9970
保安道路企画㈱愛知営業所	(045)955-4311

周辺地図

地下鉄上前津駅②番出入口が便利です。



ASL 一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

■お問合せ先

〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目13番46号
ウィストリアビル５階

TEL (052) 241-4515
FAX (052) 252-8156
E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

http://www.ansinmichiaichi.jp